

姫小通信

妙高市立姫川原小学校

第9号

平成24年1月25日

余裕をもとう

校長 竹内 修一

「豊になればなるほど教育がダメになる」と、聞いたことがあります。確かにそうかもしれません。今の社会の状況、経済活動、教育活動等みますと、すべてが効率化、能率化、利便化を追い求めているように見えます。



1月11月 書き初め会の様子

言ってみれば、直線化、高速化、合理化を至上としているのでしょうか。しかし、もっと曲折、曲線、回り道があってもよいのではないのでしょうか。無駄をもっと大切に見直したいものだと思いますが・・・いかがでしょうか。

特に教育を行う場面では、失敗を繰り返したり、じっくりと時間をとって考えたりすることにより、大きな失敗を繰り返さないようになり、自分の考えがしっかりまとまったりします。

私たち学校職員の状況を見たとき、道草での草花の観察、ペンをもち原稿を書く早さの教育、児童とともに遊ぶ中での見取り、誤答を朱ペンで訂正し、添え書きをする採点等、心と時間に余裕がほしいものです。

ハンドルにも遊びがあります。橋にも無駄があります。靴にも多少の余裕があります。ハンドルに遊びがないと万が一のとき急ハンドルを切り、事故をすることがあります。1mの橋は、足幅が約10cmですから90cmは無駄です。靴に余裕がないと靴擦れを起こします。心に余裕がないとミスを起こします。時に病気にもなります。

事故が起きてからではたいへんです。交通事故の原因を探ると1/10秒の判断ミスとうろたえだそうです。10cmの橋では窮屈すぎて、人と人がぶつかり、どちらかが川に落ちてしまいます。靴が窮屈過ぎると履きづらく、歩きにくく、最後には脱ぎ捨てたくなります。

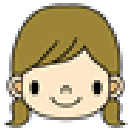
しかし、無駄も余裕ももてない時があります。こんなときこそ、心をゆったりと構え、一呼吸おいての確かな思考と判断力を保ちたいものです。

泰然自若、慢心自戒・・・。

計画を立てる。早めに取り組む。確認する。検閲する。報告や連絡そして相談など確実に行う。そして心配り、気配り、体配りを大切にし、相手の立場を考え、相手を思いやり、相手に手を差し伸べた仕事をする。すると余裕が生まれます。境界線をなくすボーダーレスという方法もあります。自分の分野、自分の範囲、自分の仕事だけでなく、自分の範疇を超えて仕事をするのです。

思いをつれづれなるままに書いてみました。

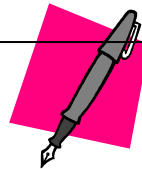
子どもたちは、自分より年上の人たちの姿を見て育ちます。余裕をもった大人の行動がとても重要に思います。・・・いかがでしょうか。



2学期の学校評価の結果です

2学期末に行った保護者アンケートや児童アンケート、各種テスト結果等をもとに、今年度のグランドデザインに基づいた2学期の学校評価の結果をまとめました。評価結果と今後の取組についてお知らせします。

※評価の観点、成果目標の数値から達成できた場合を◎、もう少しで達成できる場合を○、まだ少し努力が必要な場合は△、ものすごく力を入れて取り組む必要がある場合は×で示してあります。また、1学期と比べ上回ったものには↑、下回ったものには↓で示しました。



1 高め合う(確かな学力の向上)

成果目標	調査対象等	2学期結果 (1学期)	評価
①各単元のテストで全国平均を上回る。 ＜80%以上を目指す＞	全児童のワークテスト	82% ↑ (78%)	◎
②Web配信テスト(県の主催)で県平均を上回る。 ＜80%以上を目指す＞	3年生以上の配信テスト	77% ↑ (71%)	○
③家庭学習の習慣が身に付く。 ＜各学年の目標に対する達成度85%以上を目指す＞	保護者アンケート	78% ↓ (81%)	○
④自分の考えを進んで発表する子が増える。 ＜肯定的な回答が80%以上を目指す＞	児童アンケート	88% ↓ (91%)	◎

＜結果から＞

「単元テスト」と「Web配信テスト」の結果が1学期より伸びました。特に単元テストでは目標とする数値(80%)を上回りました。1学期の反省をもとに「分かりやすい授業づくり」に努めてきました。今後も毎日の授業を大切にしながら、テストの事前事後の指導の充実を図っていきます。「自分の考えを発表する子が増える」の項目は、数値が下がっているものの高い数値を維持しています。

一方、「家庭学習の習慣が身に付く」の評価が1学期同様、目標とする数値にとどきませんでした。学校でも手立てを考えていきます。保護者の皆様には、今後も家庭での学習習慣が身に付くように子どもたちへの支援をお願いいたします。

2 かかわり合う（豊かな心の育成）



成果目標	調査対象等	2学期結果 (1学期)	評価
①ALL妙高あいさつ運動をはじめとし、進んであいさつできる。 <肯定的な回答が90%以上を目指す>	児童アンケート	94% ↑ (91%)	◎
②進んで人や自然とかかわることができる。 <肯定的な回答が85%以上を目指す>	児童アンケート	95% (95%)	◎
③学校が楽しいと感じる子どもが増える。 <肯定的な回答が90%以上を目指す>	児童アンケート	95% ↑ (94%)	◎

<結果から>

3つの項目とも、1学期同様に目標とする数値を上回りました。特に「ALL妙高あいさつ運動」の取組をはじめ、保護者や地域の方に大変お世話になりました。今後も学校、地域が一体となって取り組んでいきたいと考えています。また、全体として高い数値を示していますが、その中で否定的な回答をしている子どもがいることを忘れずに、その子どもへの支援策を考え、来年度につなげていきます。



3 きたえ合う（体力の向上）

成果目標	調査対象等	結果 (1学期)	評価
①体力テストの結果が伸びる。 <70%の種目で県平均を上回る。>	体力テスト	68% (—)	○
②体を動かすことが好きな子どもが増える。 <好きと答える子どもが90%以上を目指す>	児童アンケート	92% ↑ (88%)	◎
③メディア視聴を平日1日2時間未満にすることができる。 <達成率が85%以上を目指す>	児童アンケート・家庭学習ノート	91% ↑ (86%)	◎

<結果から>

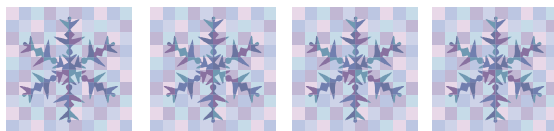
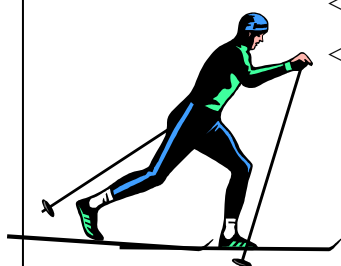
体力テストの評価は、2学期に県全体の平均が公表され、当校との比較を行いました。全体としては、昨年度の数値に比べて高くなっていますが、目標の70%には届きませんでした。全体的傾向は一概には言えない部分がありますが、学年によって差があると言えます。運動が好きな子どもたちが多いので、その意欲が続くように様々な運動ができる環境整備を行っていきます。

また、メディアコントロールについては、今後も生活習慣や学習習慣の確立を目指し、保護者の方々と連携しながら取り組む必要があると考えます。

地区合同雪上運動会が行われます。〈2月18日(土)〉

※詳しい案内は後日配布します。

- 1 日 時 2月18日(土) 13時00分～15時45分
- 2 主 催 姫川原小学校 姫川原小学校PTA 姫川原地区コミュニティー
- 3 会 場 姫川原小学校グラウンド及び周辺
- 4 競技種目 <児 童> ①個人種目 ②団体種目
 <地域対抗種目>
 <デモンストレーション>
 <フリー参加種目>



ぜひ姫小にお越しください。お待ちしております！

2月の予定



1日(水) 学習参観・音読大会 課外音楽(3年以上) 預り金引き落とし日	17日(金) 信越学童スキー大会
2日(木) 委員会活動(5・6年)	18日(土) 地区合同雪上運動会
3日(金) 全校朝会 移行学級 課外体育(3年以上)	20日(月) 振替休業日
6日(月) 体重測定	21日(火) 計算テスト週間 図書館ボランティア読み聞かせ(3年) 課外音楽(4年以上)
7日(火) 学力テスト① 図書館ボランティア読み聞かせ(1年) 課外体育(4年以上)	22日(水) 3～6年第2回スキー教室 1・2年親子スキー教室 課外音楽(3年以上)
8日(水) 学力テスト② 課外音楽(3年以上)	23日(木) 委員会活動(5・6年)
10日(金) 課外体育(3年以上)	24日(金) 音楽朝会 課外音楽(3年以上)
14日(火) 図書館ボランティア読み聞かせ(1年) 図書館司書読み聞かせ 課外体育(4年以上)	27日(月) 漢字力テスト週間
15日(水) 5年生、姫川原保育園との交流 課外音楽(3年以上)	28日(火) 図書館ボランティア読み聞かせ(4年) 課外音楽(4年以上)
	29日(水) 課外音楽(3年以上)

